

学ぼう防災!! ～防災啓発活動～



1 はじめに

「沖縄県津波被害想定調査」によると、今後、沖縄本島において最大水位28mの津波が発生することが想定され、また、今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率をみると、全国に比べて確率が高くなっています。沖縄に比べて地震の確率が低い大阪でも平成30年に「大阪府北部地震」が発生しました。沖縄でいつ地震が起きててもおかしくありません。しかししながら、沖縄県の県民意識調査によると、県民が取り組むべきと考える施策は、県全般の重点施策において、「県土保全と防災」は14位であり（沖縄県2019）、また、「自主防災組織活動力バー率」が都道府県で最下位になるなど、防災意識が低い結果となっています。その理由として、沖縄では多くの人が大規模な地震の経験がないことなどが背景にあると思われます。

2 防災啓発活動

備えよう、親子で学ぶ防災展

沖縄総合事務局では、防災の備えについて親子で学ぶきっかけになるよう、「備えよう、親子で学ぶ防災展」を開催しています。このイベントでは、防



②新聞紙を使ったスリッパ作り



①非常時持ち出しセットの展示



③リニューアルした展示パネル

災パネルと防災ワークシート（クイズ形式）、非常時持ち出しセット（100円ショップで揃うもの）の紹介、備蓄食の試食、手作り防災グッズ（新聞紙を使ったスリッパ）づくりの実演などのコーナーが用意され、親子が様々な形で防災の備えについて見学・体験することができます。（写真①②）

これまで、専門用語も多いことなどもあり、展示パネルにひきつけ、じっくり読んでもらうことは難しい内容となっていたことが課題でした。そこで、今回学校などでも活用しやすく、親しみの持てる内容へと防災パネルをリニューアルし、地震や津波の起こるメカニズムなど、科学的なテーマについては図解を多用しました。特にイラストやグラフについては、土台をつけ、立體感を出して印象づけるようにしました。災害に対する心得については、身近に感じてもらうことを重要視し、家族の中でのやりとりの場面をイラストで表現しました。また、パネルは小さく軽量で持ち運びやすく改良したため、子どもでも設営ができ、背面には折りたたみ式のスタンドを取り付

けてある」とから、学校の教室の机や会議室の長机などを活用し、そこに立てたり置いたりして、並べて展示ができます。(写真③④⑤)



③防災パネルの展示



④防災グッズのミニチュア

「防災マップ展示コーナー」では、どのルートで避難すれば安全なのかを、児童同士で確認してもらいました。また、「非常時持ち出しセットコーナー」では日頃から何を備蓄する必要があるのかを見てもらいました。児童達からは「全国的に見て、沖縄は大きな地震が起こる可能性が高いことを知つて驚いた」などの感想がありました。(写真⑥⑦)



⑤防災パネルの展示

令和2年7月1日、南城市立知念小学校で全校生徒(10クラス247名)を対象に防災パネル展を開催しました。はじめに防災パネルを見ながらクイズを解いてもらい、地震や津波が発生するメカニズムを学んでもらいました。

知念小学校防災パネル展

巡回防災展

令和2年10月29日、沖縄県婦人連合会の定期大会において、各地区からの役員約60人参加のもと防災についての講演を行いました。その中で食料を別途備蓄するには費用がかかることから、普段の食料・日用品を少し多めに購入し、古くなつたものから消費する「ローリングストック」であれば容易に実践できるので、ぜひ取り組んでいただきたいとの話をしたところ、防災の備えについて大変関心を持つてもらいました。(写真⑧)



⑥防災パネルの展示

「防災マップ展示コーナー」では、どのルートで避難すれば安全なのかを、児童同士で確認してもらいました。また、「非常時持ち出しセットコーナー」では日頃から何を備蓄する必要があるのかを見てもらいました。児童達からは「全国的に見て、沖縄は大きな地震が起こる可能性が高いことを知つて驚いた」などの感想がありました。(写真⑥⑦)

現在、新たな取り組みとして防災を学ぶDVDを製作しています。このDVDは、「基本編」、「地震・津波編」、「災害への備え編」の3部構成となつております。過去に沖縄で起つた地震の紹介や、今後沖縄で地震の起こる可能性、地震への備えはどうしたらよいか?など、地震に対する知識を深めてもらいます。

防災・危機管理課では、今後とも県民の防災の意識を高め、日頃から災害に備えてもらえるよう、イベントや巡回防災展(小学校対象)を開催していくります。

3 今後の取り組み



⑦防災マップで避難ルートを確認

お問合せ先

総務部

防災・危機管理課

☎ 098-1866-0115